

大島文恵さん（左端）、紀恵さん（左から2人目）と共演する蔵王小の児童たち



## 山の蔵王 小の児童たち 再現中世劇で踊り奏

福山市蔵王町、蔵王小の児童が十七日、同市西町の県立歴史博物館で中世の遺跡をテーマにした創作邦楽劇「草戸千軒絵巻」を演じた。同館と同館友の会が主催し、十一回目。二年生と教員、保護者ら計六十人が出演した。

芦田川下流の中州で遺跡が見つかった草戸千軒町の往時の姿を表現した。児童は村人や踊り子、托鉢僧の衣装に身を包み、博物館の前で太鼓や木の楽器の「xyxora」、かねで祭りばやしを奏で、中世に誘った。

その後、遺跡の町並みを復元した展示室で、祭りの一日を演じた。市場の準備や掃除など朝の仕事に続き、獅子舞や田楽舞の子どもが元氣よく登

場。福山市の喜多流大島能楽堂の大島文恵さん（30）、紀恵さん（27）の姉妹が白拍子を舞った。

田楽舞をした白神詩織さん（8）は「本当の祭りみたいに楽しく踊れました」と話していた。

（赤江裕紀）

07/11/18 中国新聞

back